

## 5. これまでの職業歴

これまでに「連続一か月以上就労した経験」のある者は79.0%。その就労経験回数は平均2.6回である。経験した職種は「サービス職」「生産労務職」「営業販売職」が多く、その雇用形態は「アルバイト」であることが多い（のべ雇用経験の64.4%）。全体としては熟練を要しないアルバイト就労が目立つ。なお一週間未満の就労経験は、全体の44.1%に見られた。

Q12職種の分類

	度数	パーセント
専門技術職	27	3.1
事務職	81	9.4
営業販売職	197	22.8
サービス職	268	31.1
保安職	7	0.8
農林漁業職	21	2.4
運輸通信職	40	4.6
生産労務職	217	25.1
その他	5	0.6
合計	863	100.0

Q12雇用形態

	度数	%
正社員	163	19.3
アルバイト	545	64.4
派遣・契約	97	11.5
その他	41	4.8
合計	846	100.0

## 6. ニート期間

ニート状態にある期間は「1年以下」41.1%、「1年超～2年以下」13.2%、「2年超～3年以下」7.7%、「3年超～5年以下」6.5%、「5年超」11.5%であった。ニート状態になって一年以内に支援機関に来訪する者が多いことが印象的だが、支援活動が緒についたばかりのためか、複数年におよぶケースのほうが多数派となる。支援活動が本格化した後の変化に注目する必要がある。

年齢とニート期間との関係を見ると、年長者にはニート期間の長い者が多く、年少者にはニート期間の短い者が多くなる。

Q14ニート期間

	度数	パーセント
1年以下	172	41.1
1年超～2年以下	55	13.2
2年超～3年以下	32	7.7
3年超～5年以下	27	6.5
5年超	48	11.5
合計	334	79.9
無回答	84	20.1
合計	418	100.0